



2022年4月26日

各位

会社名株式会社マクアケ
代表者名代表取締役社長 中山 亮太郎
(コード番号：4479)

問い合わせ先 執行役員
経営管理本部長 田村 祐樹
TEL. 03-6328-4038

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年4月26日の「2022年9月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて発表いたしました2022年9月期(2021年10月1日～2022年9月30日)の通期の業績予想につきまして、下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 2022年9月期通期 業績予想数値の修正(2021年10月1日～2022年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------|--------------|------------|------------|------------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 6,200 | 百万円 465 | 百万円 460 | 百万円 350 | 円 銭 28.22 |
| 今回修正予想(B) | 4,700 | 0 | 20 | 65 | 5.19 |
| 増減額(B-A) | △1,500 | △465 | △440 | △285 | - |
| 増減率(%) | △24.2% | △100% | △95.7% | △81.4% | - |
| 前期実績 (2021年9月期) | 4,621 | 329 | 326 | 246 | 20.44 |

2. 修正の理由

当社はこれまでMakuakeサービスにおける応援購入総額の拡大を最優先に、新商品や新サービスのオンラインデビュー市場における最大のマーケットプレイスとして地位を確立することを目指してきましたが、コロナ禍においてMakuake利用のニーズが急拡大し、当社の想定を上回る非常に高い成長をすることができました。

その結果、応援購入総額が大きく伸びた一方、人員数やオペレーション体制、プラットフォーム規模に合わせた新機能開発等に課題が現れ、Makuakeサービスにおけるユーザー体験が損なわれていることから2022年

9月期の第2四半期累計期間は積極的な採用強化やオペレーション体制の改善、新機能の開発に注力してきました。しかし、人員の確保と同時に新オペレーション体制を構築し、最適化していくことや各種新機能を開発することは当初の計画より時間を要し、第2四半期累計期間の業績は計画を下回る進捗となりました。

当社は今期引き続き、社内の課題にしっかり向き合い来期以降の成長基盤を強固にしていくため、オペレーション体制の改善や新機能開発を続けていくと同時に、ユーザーのプラットフォーム利用の前提となるMakuakeの健全性にフォーカスを当て、審査体制を強化することで実行者やサポーターのリピート利用をさらに促進し、よりよいユーザー体験の基盤づくり及び顧客資産の蓄積に注力していこうと考えております。これらを踏まえ通期の業績予想を見直したところ、2021年10月26日公開した業績予想を下回る見込みとなりました。通期の業績予想は以下の要因を加味し、見直しております。

- ① 売上高：オペレーションの改善や新機能リリースによる効果が下期から現れる予定ですが、審査体制強化やオペレーション体制の更なる効率化及び新人育成に注力し、来期以降の成長基盤づくりに集中するため大きな成長を見込んでおりません。
- ② 営業利益：ユーザー体験の改善や今後成長を加速させていく人的資産を蓄積するために先行して人材採用を進めたことにより、一時的にコストが増えています。オペレーション改善に必要な人員の確保は十分できているため、追加の人材採用は必要最低限に留め、業務効率化を図っていきます。一方、WEBを活用した広告宣伝費は継続的なユーザー獲得や売上高の成長加速に寄与する支出であるため、当初の計画から変更しておりません。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上